

(特非) ニッポンバラタナゴ高安研究会

高安の里におけるニッポンバラタナゴを保護するための地域循環共生圏づくり

活動地域  大阪府



ニッポンバラタナゴの保護のためのドビ流し

課題

高安地域の自然再生活動によって、持続可能な生態系サービスを維持しながら、ニッポンバラタナゴを含む生物多様性を保全するための地域循環共生圏を構築する。

目標

地元住民や行政及び都市部のものづくりの得意な企業や住民と連携し、ニッポンバラタナゴを含む生物多様性が保全される高安地域循環共生圏を構築する。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

高安地域の自然再生活動である、ニッポンバラタナゴ(キンタイ)の保護池調査やドビ流し(池干し)、里山の森林整備、及び里地の有機栽培を実施することで、ニッポンバラタナゴを含む生物多様性を保全するための地域循環共生圏の構築を目指した。その成果は、森林資源のバイオマスエネルギーとしての利用や有機野菜やブランド米(きんたい米)、河内木綿の商品化など、自立分散型の持続可能な生態系サービスの利用方法の可能性を確認すると同時に、ニッポンバラタナゴの個体数も予想を超える約10万尾を保全することができた。



保護池の水で栽培したきんたい米

ニッポンバラタナゴの個体数 **10万尾**

きんたい米の生産量 **300kg**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **50%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルス感染症と夏の猛暑の影響で、保護池調査や河内木綿の栽培が一時期停止したため、ドブガイの繁殖や綿の収穫量が激減した。

■ 工夫した点

オンラインでドビ流し(池干し)の中継や活動紹介を実施した。また、保護池の貝を再生するためのナノバブル発生装置を設置した。



今後の展望

高安中学校区まちづくり協議会和協動し、「八尾廃校SATODUKURI BASE」を拠点として、きんたい廃校博物館や河内木綿の伝承の場、及び、高安山の森林資源を利用した木育教室を同時開催する。

〒581-0872
大阪府八尾市郡川5-131
電話：072-941-7682

E-mail: n_baratanago@yahoo.co.jp

HP: <http://n-baratanago.com>

